こんな加速度が弾性反発で起きるわけがないよ。物理現象じゃなくて化学反応の力だね。

③　断層はどうやってできたのか

子：　活断層が動くんじゃなくて、爆発が起きているのか。
　じゃぁ、断層はどうやってできたんだろうね。活断層って危険だから、その上に原発の重要な施設を建設してはいけない、なんというのはおかしな議論だね。意味ないじゃん。

父：　そうそう、法律まで作ってしまったけど、誤解に基づく法律だね。早く昔の地震学に戻さないといけないね。昔の「押し円錐理論」というので考えれば、断層がどうやってできるのかは、容易に分かるんだよ。原子力規制委員会の専門委員が言ってることは最新の地震学の知識だと思っているのだろうけど、矛盾があるよ。

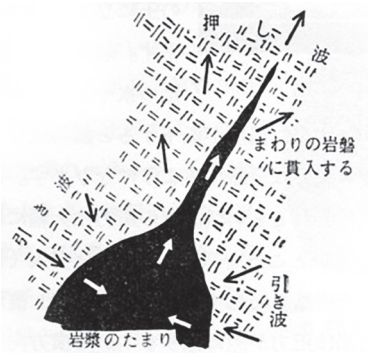

図 2-9　マグマ貫入の概念図
爆発的貫入の原因が当時は不明であった

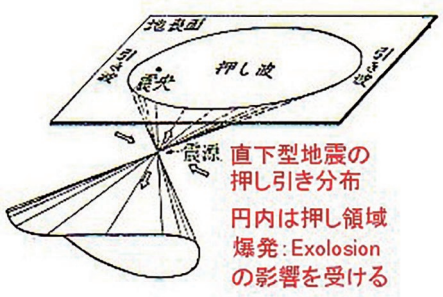

図 2-10　石本巳四雄博士が考えた「押し円錐」理論

子：　昔の地震学って？いつ頃の地震学？

父：　昔といっても、昭和の中期ごろまでの地震学だけどね、日本には「マグマ貫入理論」とか「マグマ爆発論」というのが存在したんだよ。それを考えたのは京大の小川博士とか、東大の石本博士なんだ。「マグマの貫入現象」と関連して、考え出されたのが石本博士の「押し円錐理論」というものなんだ。その立体的な模型を作ったのが（図 2-11）だけど、赤い部分が爆発（Explosion）で、青い部分が爆縮（Implosion）による地盤の移動を示すのさ。詳しくは解説本を読むといいよ。

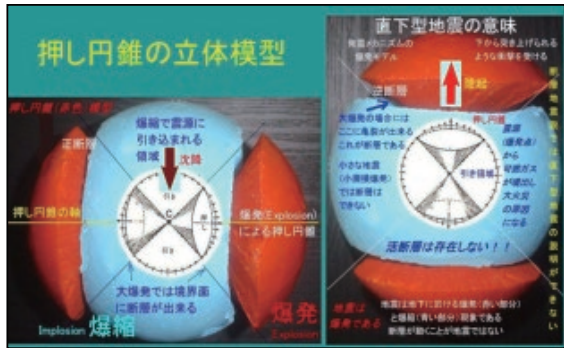

図 2-11　押し円錐の立体模型
震央（震源の真上）にいる人は、左図の場合「ストン」と落ちるように感じ、右図の場合は「ドン」と突き上げられるように感じる。「押し」(赤) は Explosion によるもので、「引き」（青）は Implosion によって起きる。

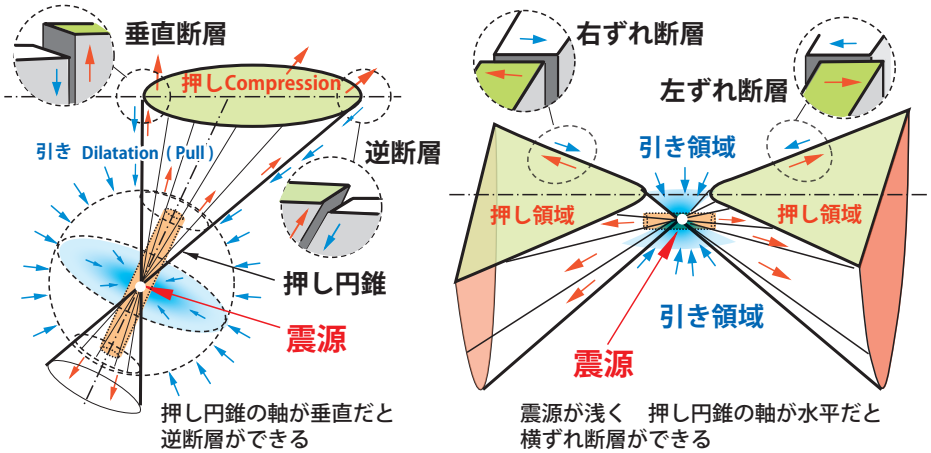

図 2-12　震源の深さと「押し円錐」の傾斜によって変わる地上での「押し引き分布」「逆断層」「横ずれ断層」が発生するメカニズム